

シートベルト 全席着用の徹底

全ての道路で
義務化



後部座席でシートベルトを着用せずに交通事故に遭ってしまうと…

車外放出の危険

衝突の勢いが激しい場合、後席から車外に放出される可能性があります。車外に放出されると、

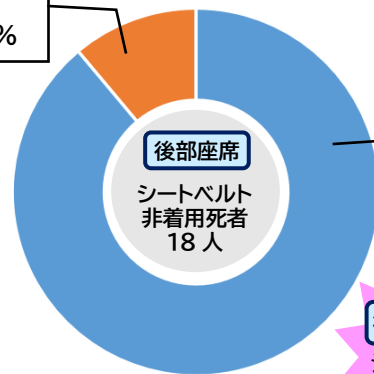
- ・道路にたたきつけられる
- ・後続車にひかれる
- ・横転もしくは転覆した自車と路面の間に挟まれる

場合があり、最悪の場合は命を落としてしまう恐れがあります。

後部座席シートベルト非着用死者に関する
効果の有無【R.2-R.6】

効果なし
2人
11.1%

効果あり
16人
88.9%



後部座席も
シートベルトを！

【注】効果有りは着用していれば
助かったと思われる人

前席の同乗者に致命傷

衝突の勢いで後席の人が前方に投げ出されると、身体が凶器になって同乗者(特に前席)の命を奪うこともあります。

(イラスト:政府広報オンライン)

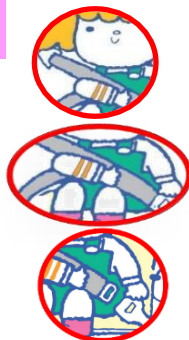


シートベルトの 正しい着用方法について



シートベルトの正しい着用方法

- ☐ シートに深く腰掛け、体を斜めにせず正しい姿勢。
- ☐ 肩ベルト(3点式ベルトの場合)は、首にかからない。また、肩ベルトがたるんでいない。
- ☐ ベルトがねじれていない。
- ☐ 腰ベルトは骨盤を巻くようにしっかり締める。
- ☐ バックルの金具は確実に差し込む。



妊娠中の正しいシートベルト着用方法

- ※健康保持上、シートベルトの着用が適当かどうかを医師に確認しましょう。
- ☐ 腰ベルト・肩ベルト共に着用する。
 - ☐ 肩ベルトは、首にかからない。
 - ☐ 肩ベルトは胸の間を通し、腹部の側面に通す。
 - ☐ 腰ベルトは、腹部のふくらみを避け、骨盤のできるだけ低い位置を通す。

(警察庁ホームページから引用)

シートベルト・ チャイルドシートの着用率

チャイルドシート
着用率(6歳未満)
91.7%

一般道であっても、
後部座席の同乗者には、
シートベルト着用の義務
があります！



後部座席 同乗者
着用率 41.4%

運転席
着用率
99.0%

助手席同乗者
着用率 96.5%

※シートベルトの着用率及びチャイルドシートの着用率は、2024年に警察庁・JAFが県内の一般道路で調査した結果です。



問合せ:愛知県防災安全局県民安全課 電話:052-954-6177(ダイヤルイン)

シートベルト・ チャイルドシートは 体格に合わせ、 正しい姿勢で 使用しましょう!

6歳以上でもチャイルドシートを使用するなど、身長※などの体格に合わせましょう。

※日本自動車工業会や日本自動車連盟においては、身長150cm未満を目安として推奨

ベルトは首や腹部にかからないようにし、腰をしっかりと固定しましょう。

画像提供：
日本自動車連盟(JAF)
モデル身長140cm

NG



学童用チャイルドシートを使用していない場合

大人用シートベルトでは
首やお腹にベルトがかかって
危険です

OK



学童用チャイルドシートを使用した場合

ベルトが首にかからず、
腰部をしっかりと支えます

事故時の危険の詳細は裏面に! ▶▶▶

事故のとき、シートベルトはどうなる？

① 前面衝突をした場合、身体は前へ進もうとします



前面衝突のような交通事故時には、慣性により前に進もうとする身体を座席に拘束するシートベルトにより、胸と腰には非常に大きな力がかかります。そのような大きな力に耐えるため、肩ベルトは肩にかけ、腰ベルトは骨盤をしっかり固定する必要があります。

もし、シートベルトが首やお腹にかかっていた場合、事故時の衝撃により首を圧迫したり、腹部の内臓を損傷してしまう危険があります。

シートベルトを正しく安全に着用するためには、正しく着用できる体格であること、また、正しい方法で着用すること、シートに深く腰掛けるなど正しい姿勢で着用することが重要です。

② 身体が前にいかないよう、シートベルトは瞬時にロックされます

シートベルトを正しく着用できるまでは、チャイルドシートを正しく使用し、こどもたちの命を守りましょう！

チャイルドシートの種類

チャイルドシートには、こどもの体格（身長や体重）に合わせて「乳児用」「幼児用」「学童用」があるほか、より長い期間にわたって使用できる兼用タイプのものもあります。

	乳児用 (ベビーシート)	幼児用 (チャイルドシート)	学童用 (ジュニアシート)
身長(目安)	40～85cm	76～105cmかつ 月齢15ヵ月以上	背もたれあり 100～150cm 背もたれなし 125～150cm
年齢(目安)	新生児～1歳ごろ	15ヵ月～4歳ごろ	4歳ごろ～12歳ごろ
特徴等	・骨格が未発達な乳児を守るため、体全体で衝撃を受け止められるように、後ろ向き、または横向きに取り付ける	・幼児からは前向きで使用する ・体全体で衝撃を受け止められるよう、5点式ハーネスにより固定するものが多い	・大人用のシートベルトを使用すること ・背もたれのありなしがあること ※6歳以上も、大人用シートベルトが安全に使用できるようになるまでは、学童用タイプの使用が望ましい

※チャイルドシートの対象は機種によって異なる場合がありますので事前に確認するとともに、使用前には説明書で取り付け方をしっかり確認しましょう。

安全基準を満たしたチャイルドシートには「Eマーク」が表示されています。
Eマークが表示されているか必ず確認しましょう。



シートベルト着用はすべての座席で義務付けられており、
シートベルトを正しく着用できるまではチャイルドシートを使用しましょう

